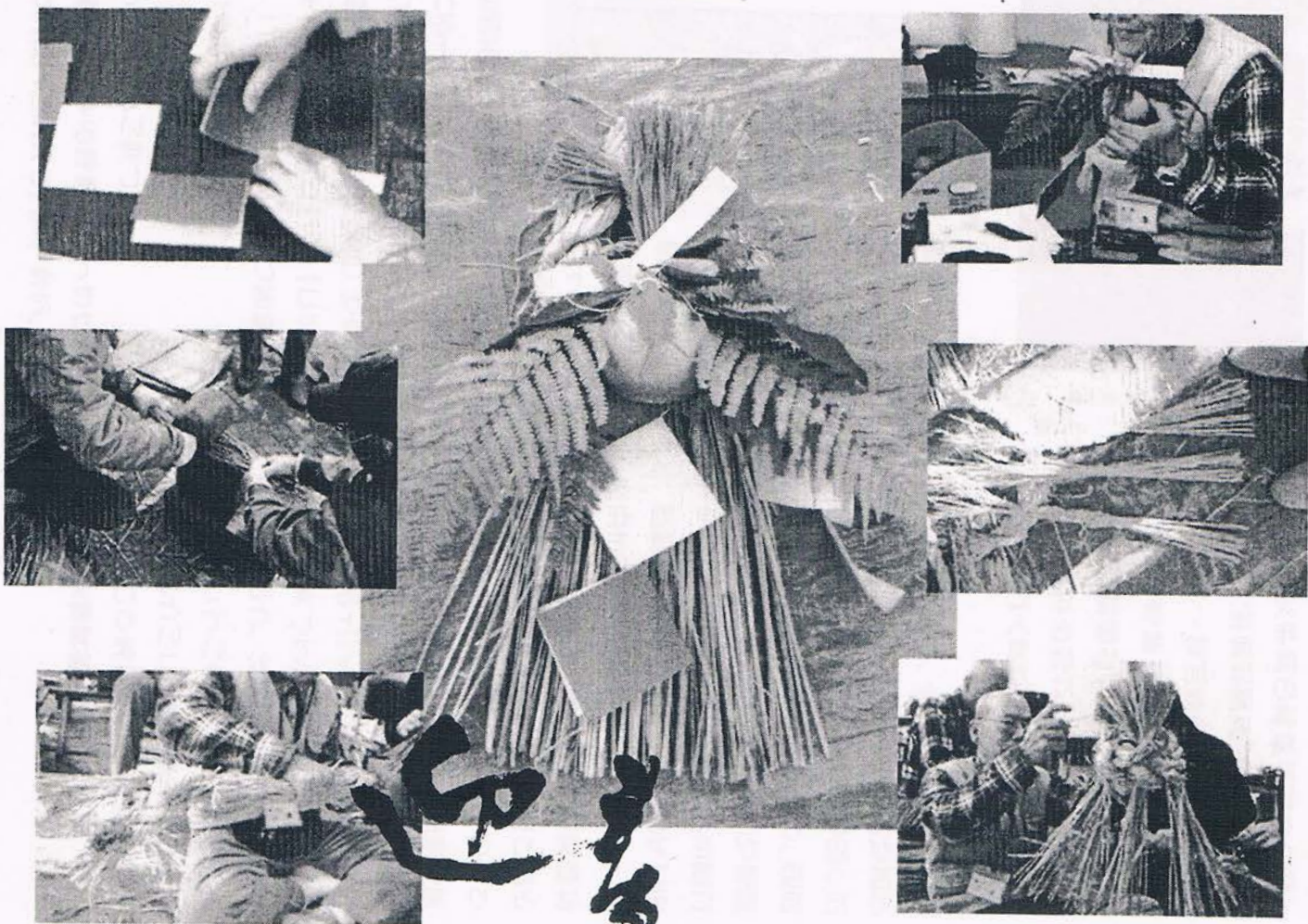


# こもれび

★49号



=目次=

開館 25 年特集 新・旧館長インタビュー  
 「これまでの 25 年、これからの 25 年」 2～3

主催事業レポート

うちのパパはスーパーマン	4
認知症理解講座	5
親子でわくわくおしごと体験クラブ	6
公運審事業評価レポート	7
公民館利用サークル紹介	8
香川分館だより	9
公民館をフル活用④、公民館からのお知らせ	10

“日本の歳越し～しめ飾りづくり”

12月15日(日)

正月の心象風景として誰もがあげる「注連縄」を門戸に飾る風習は、古くからの年越し行事として、永く受け継いでいきたい伝承文化のひとつです。

12/14(土)に準備作業、15(日)には実際に自分の手で藁を束ね、捻りながら輪締めを作り、だいたいを中心にゆずりは、うらじろ、紙垂(かみしで)を付けると一気に見栄えが良くなりました。

# 香川公民館開館25年特集

## 「新旧館長インタビュー」

「これまでの25年、

これから25年」

### 前館長 三浦正博

みうらまさひろ

香川公民館のはじまり

「これまでの25年」ということですが、そのテーマではあまりにも荷が重いので、私が知る範囲で話を進めていきたいと思います。

香川公民館が開館した平成元年、茅ヶ崎市に初の公民館である小和田公民館で社会教育主事として勤務していた鈴木敏治さん（退職し、現在は能登で活躍中）が、この香川公民館で同じく社会教育主事として、職員4人体制でスタートしました。

当時は中学生以上の若者を対象に、個人学習のための場として夏期の毎週土曜日に学習室として部屋の提供などしていました。

子育て講座については、現在は単発事業が主となっていますが、複数回を一講座として、きめの細かな講座が

打たれていたようです。また、自然や環境に関する事業についても力を入れて開催していました。

### こもれば通信創刊

この「かがわこもれば通信」は、平成元年に行われたミニ「こもれば」講習会（編集技術講習会）がきっかけとなり、講座の参加者によって発刊されるようになりました。創刊号の表紙を飾る「木の枝に留まるシジュウカラ」



のイラストとタイトルは、公民館南側の雑木林をイメージしたものだと思っています。そのイメージは、デザインを変えながらも、今に引き継がれています。



「こもれば」がさす雑木林

### 地域の社会教育施設として

話は変わりますが、公民館運営の目玉は、何といっても主催事業の質と量だと思っています。香川公民館の事業を見ると、公民館入門のふれあい事業も充実していると思いますし、人が生きる上での生活課題や社会的課題にもいろいろな面から取り組みがなされてきたと思います。主催事業へ参加するきっかけは、一人ひとり思いは違うでしょうが、その取り組みが地域に密着しにくいという課題は現在も抱えています。

地域の課題や現状に、いつもアンテナを張り、キャッチした情報を基に主催事業につなげる。そのことが事業担当者にとって重要な点であり、役目と考えますが、それがなかなか思ったようにはいかないのです。それが苦勞することであり、今も続いていることです。

参加者に人気がある事業なら、同じ事業を何年も続けて行ってもよいのか？生活課題や社会的な課題をテーマに行う事業に関しては参加者が少ない・・・参加者の少ない事業については、次年度は開催しない方向とするのか？次年度の事業計画を企画す

る際に、頭を悩ませています。担当者一人ひとりが、事業として取り組みたい分野を、それぞれが持っているように思います。

私が主催事業担当者として悩むこと、それは事業のネタが年々少なくなり、次が出てこなくなった時のことです。これはある意味、公民館職員にとっては致命傷です。

開館25年を迎えて、他の4館と比較するというのではないのですが、図書館分館、市民窓口センターとの併設館であることは、他館に比べ地域により密着した館であるといえます。この環境を見直し、より事業につなげていく方策はないのか、これからの工夫次第かと思っています。



毎月1度のふれあい

この25年を経たなかで、これぞ香川公民館と思うことがあります。

公民館利用予約方式が公共施設予約端末に変更になることを受けての対応がすばらしく、現在に至っているということなのです。

システム変更にあたっては、5館すべての抽選予約がコンピュータ抽選という方向で進められていたという記憶があります。しかし、香川公民館は従来の形である月一回、利用サークルが一堂に会して重複した日程の調整を話し合いで決めるという方法を選択しました。そのことは以前よりも利用者間のコミュニティが希薄となった日常の中、月に一回ではあるものの、現在においては最も必要な公民館業務のひとつであると見えています。他館と同じシステムに移行していたら・・・多分、今の香川公民館の姿はないでしょう！

## 現館長 小池吉徳

現状を見てみると・・・

香川公民館も25年目を迎えており、多くのサークルが活動をしています。そうした中、多くのサークルが

若い世代を取り込めないでいるように感じます。会員募集しているところもありますが、なかなか新しい人がこれないようです。新しい人に定着してもらったための会の対応も大切かと思えます。

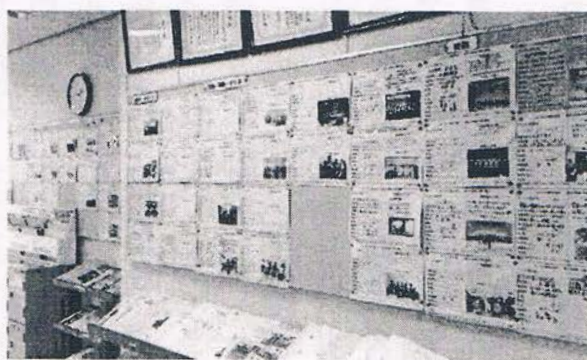
また、事業からのサークル立ち上げも難しくなっています。以前は事業の後にお茶会を開いたりして自然とサークル化したようですが、それも最近はありません。全体としてサークル活動のマンネリ化が進んでいるように感じます。

打開策としては、「大人のサークル体験」「サークル間コラボ」「市内の5館交流行事」など、案は浮かびます。企画実行となると館だけではできませんが・・・

館のサークルから地域のサークルへ

それぞれのサークルも活動年数を重ねるとともに、活動内容も成長・充実してきたことと思います。そうした中では、当初はサークル内の活動に向いていた目も、今ではさらに広い視点を持たれていることでしょう。これからは、各サークルの活動が地域の中に還元され、湘北地区の活性化や子どもたちの成長の手助けをしてい

ただければと思っております。そして、公民館もその役割の一翼を担っていきたいと思えます。



ロビーに掲示されたサークル情報。  
自分たちだけのお楽しみだけでなく、地域で活躍しているサークルがたくさんあります。公民館事業に協力するサークルも。

これからの香川公民館

香川公民館の25年という歴史を考えると、すでに大きく変化していくという事はないかもしれませんが、しながら、退職後に地域に戻られる高齢者が増えることは、高齢者の地域デビューや子ども・若者との交流機会の増加など、公民館の果たす役割も変わっていくものと考えます。また、そうした課題に対応できる公民館でありたいと思えます。

子どもたちへ向けて

幼年期から青少年期において、地域の学習拠点である公民館や公民館の事業に触れることは、成人後に公民館を活用したり、公民館活動に協力的な地域住民となっていただけ大きな要因となると思えます。

公民館としては、主催事業の企画にあたって、子ども事業という分野を設け、お子さんに参加していただく事業（あそびの広場）、お子さんと地域の方が触れ合いながら交流する事業（かがわこもれびプラザ）、親子で参加する事業などを実施しています。また、中学生に対してもボランティア活動や職場体験などを通して、公民館に親しむ機会を提供していきたいと考えています。



「これまでの25年、これからの25年」について、こもれび編集員との対談。  
館長「編集員さんとの対談の中から、今後の活動展開へのお知恵をいただきました。」

## 主催事業レポート

### うちのパパはスーパーマン

#### ダッチオープン講座

#### in柳島キャンプ場

9月29日(日)

9月の爽やかな秋晴れの日、柳島キャンプ場でお父さんを主役にしたダッチオープン講座が開催されました。10組の父子が参加してローストチキンを作りに挑戦しました。

指導してくれたのは「日本ダッチオープン・ライフ振興会」の渥海勉さん。もともと芦ノ湖キャンプ村で働いていたというアウトドアの達人です。「ダッチオープン」というと、本を読んでみんな難しいと感じてしまう。まずは実際に触れてみて下さい。意外と簡単なものですよ」と渥海さん。それなら、早速調理開始です。



講師の渥海勉(あつみつとむ)さん。参加者は真剣に話を聞いています。

最初に鶏肉の下(し)らえです。

渥海さん「水で鶏のお腹の中をきれいに洗ってきて〜」

子ども「無理！気持ち悪い。」

パパ「どれどれ。ほんとだ、気持ち悪い。パパも嫌だな。」

と、父子で押し付け合いながらも、なんとかきれいに洗って塩コショウで味付け。中にはニンニクをたくさん詰めて楊枝で止めました。直に鶏肉を置くと焦げてしまうので下にセロリを敷きます。水は一切入れません。

渥海さんは「炭火の上に置いて料理をするイメージが強いかもしれませんが、私はカセットコンロなら火力を調整できるので、安定して失敗しません」とアドバイス。たしかにこれなら簡単で安心です。



下火はコンロ。上には檜の炭火。「檜(なら)の炭は長持ちするのでおススメです。室内では炭は使わずに調理をしましょう。」

そして、蓋をしてコンロに火を付けます。蓋の上に炭を置いて、上からも焼いていきます。30分ほどしたら玉ねぎ・ジャガイモ・にんじん・トウモロコシを加えてさらに30分。いい匂いがしてきました。

パパは炭火が消えないように団扇で懸命に扇いで、さながら火の番人。パパが主役の講座で、パパが頑張る姿を見せてもらいました。

一方、子どもたちは「早く食べたい。中を見たい。」とソワソワ。待ちきれない様子で、チキンがどうなっているのか覗きたいようです。でも、渥海さんから「何度もふたを開けないで。圧力鍋と同じ効果だから、開閉は少なくてね」と言われ、しばらくは我慢の時間が続きます。

ダッチオープンから聞こえる『シユシユ』の音。ちょうどいい火加減のようです。『パチパチ』だと火が強すぎです。焦げないように、耳を近づけて音で確かめましょう。」

全体に火が通り、チキンに焼き目がついたら出来上がり！パパがきれいに大皿に盛りつけてくれました。人数分に取り分けて、待望の試食タイム。大きな声で「いただきます〜！」



「おいしい！」「やわらかい！」と満足の声が聞こえました。

お仕事で、子どもと接する時間が少ないパパですが、楽しいひと時を過ごせたようです。焼いている間にゆったりと流れる時間と、キャンプ場という開放的な空間が父子の絆を4深めるいいスパイスになりました。

はじめてダッチオープンに触れたパパにも「簡単で、誰にでもできる」「自分だけでは分からないダッチオープンの基本を親切に教えてもらえた。」と好評。また、「子どもといっしょに楽しく調理できた。」という嬉しい感想もありました。

今回の「うちのパパはスーパーマン」は3月29日に「ホルダリング」講座を企画しています。父子でふれあい、頑張れるいいチャンスです。楽しみにしていてください。



# 認知症理解講座

正しく理解して地域で助け合い

9月26日(木)

急速な高齢化社会の到来で、85歳以上で「4人にひとり」認知症の症状があるといわれています。増え続ける認知症の高齢者の暮らしをどのよう  
に支えていけばいいのか、現代の最重要課題の一つとなっています。

認知症の理解者が増えることが、認知症になっても安心して暮らせる  
住みよいまちを作ります。

支え合いの輪を

広げるためのキャンペーン「認知症サポーター100万人キャラバン」も広まっています。



認知症は誰でもなる可能性のある脳の病気です。さまざまな障害が起こり、生活するうえで支障がでている状態のことを言います。

認知症には治るもの、進行を止めたり遅らせたりできるものもあるので、早期受診で病気を知り正しい治療をうけましょう。

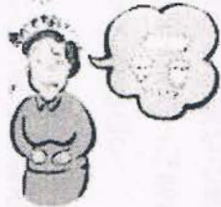
認知症の症状は、脳が萎縮して記憶や判断に支障がでたり、精神障害から起きる様々な問題行動が起こります。

自分のことや周りで起きていることが正しく判断できなくなり、自信がもてず、すべてが面倒になり、閉じこもりがちになります。今まで出来ていたことができなくなり、本人も不安と混乱の中にいます。



「今日は何日だった？」

「ごはん食べたっけ？」



認知症になっても健康な部分が残っています。身体的・精神的な機能をなるべく長く維持するといったことも必要です。

認知症の方は、物忘れはしますが、自分なりにしっかりやっているつもりなのです。

では、私たちは認知症の方と、

どの様に接すればよいのでしょうか。

「怒られる、否定される」と、プライドが傷つき、心にしこりが残ります。自分が失敗したことを見せまいとして、かえって「問題行動」を起こしてしまうのです。



- ・ 冷静になる
- ・ 叱責しない
- ・ 思いやる
- ・ 腹を立てずに顔を立てる

認知症でも健康な部分が残っています。できることは手伝ってもらったり、それぞれが抱える不安や悩みを理解して、さりげなく手助けすることが一番です。

できないことを補う「杖」になる



みんなが認知症について正しい知識を持ち、プライドを尊重して助け合えば、毎日楽しく過ごすことができます。

参加者62名が6グループに分かれての話し合いでは、次のような話がありました。

- ・ 普段にはない変化に気づいたら早目に公共機関に相談することが大切。
- ・ 介護の体験談は参考になった。
- ・ 地域で支え合える関係を広げていくには、日頃からコミュニケーションをとり話しやすい人間関係作りが必要だ。
- ・ 子どもの時から高齢者との交流する機会をもうけ、認知症への理解が自然に身につくようになればいい。
- ・ 思いやりが大切だ。

最後に、茅ヶ崎市社会福祉協議会の講師は、「こんなことをと思わずに相談してほしい、情報があれば症状に応じた対応ができ、本人や家族の負担が軽くなるようなサポートが出来ます。」「自分たちの周りにどんな人がいるのかを知り、思いやりを持つことが大事です」と話されました。

グループでの話し合いは、40分では時間が短いと思いましたが、講演とワークショップを通じて、認知症への理解を深めることができました。

# 親子でわくわく

## おしごと体験クラブ

### 伊右衛門農園編

11月30日(土)

澄みきった秋晴れの午後、長靴に軍手を持って9組の小学生親子が参加してくれました。この事業は昨年の牧場体験に続く第2弾です。茅ヶ崎の産業を知り、どのような職業かを学びます。



今回の先生「伊右衛門(いえもん)農園」代表の三橋清高さん。

まずはキッチンと挨拶  
リーダーの藤井さん(5年生)が「気をつけ。礼。」の号令をかけ、「よろしくお願いします」と全員で挨拶します。最初に、農家のおしごとについてお話を聞きました。

### 興味深々

子どもたちは事前に「質問」を考えてきています。以下は質問の一部と、三橋さんの答えです。

Q:どんな気持ちで野菜を作っていますか?

A:みんなの食卓が美味しく楽しくなるように、という気持ちを込めて作っています。大根がピンク色だったりするとサラダがきれいになって楽しくなるでしょう?

Q:残った野菜はどうするの?

A:残らないように工夫しています。どのくらい売れるのか経験から考えているのであまり残りません。

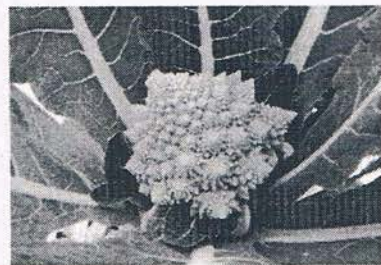
### 収穫体験

次は、畑に移動して収穫の体験です。「この列の葉を持って抜いてもら」と三橋さんに促されて子どもたちが引き抜くと赤いニンジンが抜けました。スーパースーパーのものより鋭いくさび形で色も濃い。「わあっ」と歓声が上がります。

「次は隣の列を抜いてみて」と言われ抜いてみると、なんと白いニンジン。「大根だよ」と言われても気付かないかもしれません。これだけではありません。黒、黄色、紫のニンジンが畑

からお目見えして、親子で目を丸くしたり細めたり。

別の畑では、クリスマス・ツリーのような「ロマネスコ」(カリフラワー)を収穫しました。軽く炒めても美味しいとか。「お店で買うと高いのよ、これ」と保護者からつぶやきが聞こえてきます。



収穫したロマネスコ

### 新鮮で甘い!

おたのしみの試食です。まず、白い大根と赤い大根を皮つきでスライスしたものを、子どもたちが口から「いかな?」と思いきや、「あまい!」「美味しい!」「ちよつとからい!」続いて5色のニンジン、カブ、カリフラワーをスライス。切った先から子どもたちの手が伸びて、あっという間に食べきってしまいました。



### 野菜も一緒

美味しく育てる「ツツは?」という質問の答えとして、清高さんが言った言葉が印象に残ります。

「野菜は肥料と水分で育つけれど、多すぎても少なすぎてもうまく育ちません。可愛がり過ぎるとその環境でしか育たない弱い野菜になります。畑を健康に保ち、野菜を過保護にしないことで台風の風や暑さ寒さに負けない、強く美味しい野菜を育てることができます。」

今回は子どもたちの興味を広げる良い機会になりました。保護者の満足度も高く、次回にも期待が高まります。6伊右衛門農園さんありがとうございました!



最後に参加者全員記念写真。伊右衛門農園の野菜は直売所か毎週土曜日8時からの海辺の朝市(茅ヶ崎公園球場)で購入できます。インターネットのフェイスブックでも情報を発信しています。

## 公運審事業評価レポート

香川公民館で夏休み中に開催した子ども事業の評価レポートです。

### 《公運審よりメッセージ》

公民館の講演会や講座に参加して、初めてのことに挑戦したり、興味がある事を体験してみましよう。日々の生活の中に新たな発見や気持ちの変化が生まれ、新しい何かに取り組みきっかけになるかもしれません。皆さんも積極的に参加してみてください。

## 保育ボランティア体験

毎月第4水曜日10時～13時に開催している『かめさんのおうち』（子育て中の親子のフリースペース）で小学生の女の子2名が保育体験をしました。



## 香川公民館25年度事業テーマ 未来につなげる

らび島 島の精霊  
えぼし麻呂 & ミーナ



「公運審」は  
公民館運営審議会の  
略称です。

「寝顔がかわいいー」「あそぼうよ、おいで」と赤ちゃんとおもちゃで遊んであげていました。が、本人たちも楽しんでいるようでした。用意や片付けも体験し、ボランティアのことを少し学べたのではないのでしょうか。将来の夢はパティシエと小説家の2人でしたが、「来年も、またやりた〜い。」と話していました。来年も続けてほしい事業の1つです。

## 親子でつくる壁新聞

1日目は、全国紙・地方紙・スポーツ新聞などの発行部数や、それぞれの特徴について説明があり、親子で参加していた子どもたちは、とても興味深く聞いていました。壁新聞作りでは子どもが実際の作品を参考にし、作成にとりかかりました。次回までにそれぞれが決めたテーマで壁新聞を仕上げてくることが宿題です。

## かがわこもれびプラザ

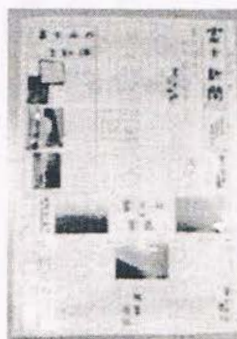
### おはなし広場とかみほい広場

紙芝居サークル虹のメンバー5名で、毎週金曜日の午前中に発表に向けての資料を作り、毎月第4土曜日13時30分～14時、保育室で子どもたちに紙芝居を発表しています。

今回の参加者は大人8名子ども9名で、小学生以下の幼児がほとんどで、途中で手あそびなどを取り入れたら、サークルメンバーのお子さ

2日目は、講師のアドバイスを受けて手直しをして、出来上がった壁新聞を発表しました。

参加した親子は楽しく壁新聞づくりをし、また参加したいと言っており、来年度の開催を期待したいです。



んが発表したり、ポイントカードを作り子どもたちに押させたり、子どもが飽きないような工夫をしていました。

サークルメンバーと親子が一体となって、大きな声で歌っていたのが印象的でした。

今後はサークルメンバーを増やし、手作りの紙芝居などができると、参加人数も増えてくるのではないのでしょうか。

## サークル紹介

香川公民館で活動しているサークル・団体は100以上あります。様々なジャンルがありますが、今回は会員募集中の6サークルを紹介します。

興味を引くサークルが見つかるかもしれません。気軽に見学にいらしてください。



### スポーツ吹矢香川

活動日：毎月土曜日または日曜日  
活動時間：14時から17時まで  
会員数：8人  
会費：月1,000円



「スポーツ吹矢」は腹式呼吸を取り入れた健康的な新しいスポーツです。ゲーム感覚を取り入れ、精神力アップ、集中力アップも目指すゲームです。

### 北陽道場（日本吟心流詩吟）

活動日：水曜日（月3回）  
活動時間：9時30分から12時まで  
会員数：5人  
会費：月2,000円



詩吟を通し、楽しく豊かな人生を目指しています。詩の心を汲み取り、腹式発声で朗々と吟じます。健康増進、脳活性で老化防止にも効果あり。和気あいあいと活動しています。

### ハーモニカクラブ香川

活動日：木曜日  
活動時間：13時から16時まで  
会員数：8人  
会費：月2,500円



ハーモニカは腹式呼吸をするので、健康にとってもよいです。ハーモニカを通じて公民館まつりや福祉施設等での演奏を行っています。見学いつでも可です。

### 香川囲碁サークル

活動日：土曜日（原則第1・3・5週）  
活動時間：13時から17時まで  
会員数：19人  
会費：年300円

初心者から上級者を対象に自作の碁盤で解説してから実践で鍛えています。子どもの参加も歓迎します。



### 香川厨房に入ろう会

活動日：毎月第3土曜日  
活動時間：9時から14時まで  
会員数：11人  
会費：月1,000円（入会金1,000円）

食の基本は家庭から。現代の食は非常にミダれています。簡単で早く、食べておいしい料理を習ってみませんか。お待ちしております。



### ひまわり体操

活動日：毎週木曜日  
活動時間：11時から13時まで  
会員数：15人  
会費：月2,000円

エアロビクス・コアトレーニング・ストレッチなどの有酸素運動。また、音楽に合わせてダンスもやります。初めての方大歓迎です。



○サークルに入りたい方、見学したい方は公民館窓口に行ってください。公民館に電話をしてください。サークルの連絡先をお伝えします。

☎0467(54)1681

○ほかのサークルを調べたいときには公民館ロビーに来てみてください。常時、サークル紹介掲示板と紹介ファイルを設置しています。

○定員に達している時には入れない場合があります。



## 分館だより

前号では、分館の検索機を使って本などを予約する方法をご紹介しました。今回は予約した本などの受け取りについてご説明します。

### 予約した本はいつ頃届くのか？

本館等の本で予約が一番目のとき、本が貸出されずに在館している場合、早くて翌日の夕方には届きます。

ただし、その本が他の利用者に借りられてしまった場合は、届くのは返却された後になります。

予約の多い本などが貸出中の場合の受取時期については、その本が何冊あるか、また本の返却時期によっても変わってくるため、確かな事は申し上げられません。

### いつ取りに来ればよいか？



予約した本が、受取館（予約者が予約した本を受け取る館・分館・公民館の図書室等）に届きますと、「予約された本の準備ができました。受取館へ取りに来てください」という内容のハガキがメールが本館から発送・送信されます。

図書館からハガキ等が届きましたら図書館の利用者カードをご持参の上、受取館へお越しください。

### 利用者カードを忘れたら？

利用者カードを忘れても大丈夫です。ご本人確認のための用紙がありますので、必要事項を記入していただければ、本の貸出を受けられます。

### 予約した本の取置期限はいつまで？

受取館に届いた本は、約十日間、その受取館に取置かれます。取置期限を過ぎてもし来館されない場合は、予約は取り消され、本は所蔵館へ戻されます。

また、その本に予約がある場合は次の方へ取置きされます。取置期限は、ハガキにもメールにも記載されています。予約した本を取りにいらつしやるときは、取置期限にご注意ください。

ご不明な点は、香川分館までお問い合わせください。

ちがき真珠  
えぼし麻呂



## 図書館の利用時間

### <貸出日>

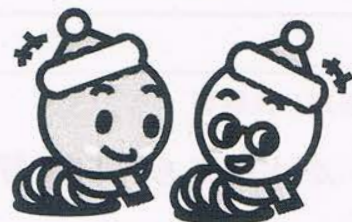
火曜日～木曜日 9時～17時 (夏休み期間は18時まで)  
金曜日 9時～19時  
土・日・祝日 9時～17時

### <休館日>

月曜日(祝日は開館、翌日休館)、図書整理日(原則、毎月第3木曜、休日は開館)、特別整理期間、年末年始(12月28日～1月4日)

### <お問い合わせ>

このページの質問や図書館香川分館へのお問い合わせは図書館のカウンターか  
電話0467(51)4946まで



# 公民館をフル活用！④

【2月7日(金)】

## 市県民税の申告・確定申告の出張受付を行います

市県民税の申告、確定申告の相談・提出は1月1日号の広報ちがさきで茅ヶ崎市総合体育館や商工会議所等で行う日程等をお知らせしていますが、香川公民館において、次の日程で年金所得のみの申告や、給与所得のみの還付申告などの申告相談や申告書の收受を行います。当日は混雑することが予想されますが、ぜひご利用ください。時間はそれぞれ9時30分～15時です。

日程	場所
2月3日(月)	浜見平団地集会所
2月4日(火)	小和田公民館
2月5日(水)	福社会館
2月6日(木)	鶴嶺公民館
2月7日(金)	香川公民館
2月10日(月)	小出地区コミセン
2月12日(水)	鶴が台団地集会所
2月13日(木)	松林公民館
2月14日(金)	青少年会館(梅田中学前)

なお、次の内容の方は藤沢税務署で申告してください。

- 事業所得・不動産所得・雑所得があり収支内訳書を作成していない方
- 退職所得、土地・建物及び株式等の譲渡所得などの分離課税の申告をする方
- 青色申告、損失申告をする方
- 雑損控除、住宅ローン控除の申告をする方
- 更正の請求・修正申告をする方

○22年分以前の申告をする方  
○ストックオプションなどの特殊な申告をする方

また、申告に必要なものは次のとおりですので該当するものをお持ちください。

- 収入・所得のわかる書類
- 公的年金等の源泉徴収票、給与所得の源泉徴収票など
- 所得控除額の証明できる書類
- ・社会保険料控除
- ・国民健康保険料、国民年金保険料、後期高齢者医療保険料、介護保険料などの領収書や納付済額のわかる書類

・生命保険料控除

生命保険会社などから送付される控除証明書

・地震保険料控除

損害保険会社などから送付される控除証明書

・障害者控除

障害者手帳、療育手帳など

・寄附金控除

寄附金控除の対象となる記載がされた証明書など

・医療費控除

医療機関などの領収書(合計額を計算しておいてください)、高額療養費や、生命保険会社からの補てん金額の通知

□その他

印鑑、還付の場合には申告者の通帳など

ご不明な点がございましたら

◆市県民税のことについては

市役所市民税課市民税担当

☎82・1111(代表)

◆確定申告など国税に関する

ことについては藤沢税務署

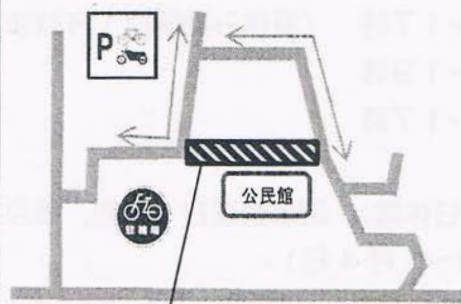
☎0466-222-2141

へお問い合わせください。

【市役所市民税課市民税担当】

## 公民館からのお知らせ

香川公民館まつりは3月8日(土)、9日(日)に延期となりました。開催期間中の道路迂回、駐車禁止、臨時駐輪場利用の協力をお願いいたします。



車・自転車は通れません。北側を迂回してください(9時~16時)

香川公民館報

かがわこもれび通信49号

発行日 平成26年1月1日  
発行 茅ヶ崎市立香川公民館  
〒253-0082  
茅ヶ崎市香川1-11-1  
TEL・FAX 0467(54)1681  
MAIL:kou\_kagawa  
@city.chigasaki.kanagawa.jp